

N o 10 : いちご、酒 本県ブースも

2024 年 12 月、県香港事務所を構えるワンチャイ（灣仔）のオフィスビル合和中心に直結する形で、「合和商場」というショッピングモールがグランドオープンした。

モールの目玉となるテナントは、日本の家具・日用品販売大手のニトリである。ニトリはこの店舗をグローバル旗艦店として据え、5 階フロアを丸々占有するほどの力の入れようだ。

その他にもアシックスや任天堂、西松屋などの商品を扱うテナントも入っており、日本の商品を求める香港居民にはありがたい商業施設となっている。

モールのグランドオープンに当たり、12 月 19 日から 1 月 1 日までの約 2 週間、3 階のイベントフロアにて「Hopewell' s Festival of Japanese Culture」というイベントが開催された。

イベント期間中は日本関連の飲食および物産ブース出展のほか、書道や合気道のパフォーマンス、餅つきといった日本ならではのアトラクションが行われた。

イベント会場には神社や鳥居といった日本を想起させるオブジェクトが設置され、来場者は思い思いに記念撮影を楽しんでいた。

県香港事務所は 12 月 19 日から 23 日までの 5 日間、栃木県ブースを出展し、観光 PR や県産酒の試飲販売、いちごの試食提供を行った。県産酒は計 6 銘柄の日本酒とリキュールを用意したところ、一部商品は途中で売り切れるほどの人気だった。

いちごの試食提供では「とちあいか」を用意し、19 日と 21 日のみの実施となったが、試食したお客さまからはそのおいしさや大きさに高い評価をいただいた。

本県ブースの隣では、フタバ食品株式会社（宇都宮市）の香港総代理店である Hokkaido Marche Hong Kong Limited がブースを出展。氷菓「サクレ」をはじめとした同社のアイスが数多く並び、香港にいながらにして強く栃木県を感じることができた。

昨今の香港の景気は悪いと言われている中であって、新たな商業施設のスタートは大きなチャレンジと言えよう。香港事務所としても、厳しい経済環境の中においても香港居民に栃木県産品が選ばれるよう、PR を続けていきたい。



【イベントのオープニングセレモニーの様子＝12 月 19 日、合和商場】

（県香港事務所長 卯木啓之）